

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1 参加者 大川

以上1名

2 山城・ルート 高島トレイル

3 交通手段 電車 車 バス 自転車

4 行動記録 延べ5日間

2019年11月16日～17日 11月23日(日帰り) 11月30日～12月1日

11月16日(土)(晴17時頃から雨)

5:30 自宅出発→7時30分道の駅「藤樹の里あどがわ」→7時50分JR「安曇川」7:55 発
8時21分JR「マキノ」8:46 発→コミュニティバス→9:06 国境 9:10 愛発越→12:35 乗鞍岳→
黒川峠(林道で反対の方向に行く道迷い①)→14:00 三国山→14:30 赤坂山→16:10 寒風→
17:00 大谷山→18:00 抜土(水補給) テント泊(行動時間8時間50分)

11月17日(日)(晴)

4:30 抜土→近江坂→6:20 大御影山→7:20 大日尾根→9:00 三重獄→(藪こぎで道迷い②～南
に向かう尾根を下りてしまった)→13:10 石田川ダム
→14:30 JRバス停(行動時間10時間)→15:15JR「近江今津」→JR「安曇川」→16:00 道
の駅「藤樹の里あどがわ」 19:00 帰神

11月23日(土祝)(晴)

5:00 自宅出発→7:30 桜峠(自転車テポ)→7:45 石田川ダム駐車場→8:00 武奈ヶ嶽登山口→
9:50 武奈ヶ嶽北峰→10:20 武奈ヶ嶽→10:50 赤岩山西峰→12:30 水坂峠→13:50 二の谷山→
15:30 桜峠(行動時間7時間30分)→自転車→16:15 石田川ダム駐車場 帰神 19:30

11月30日(土)(前夜積雪...山頂で最大3cm...当日は晴れ時々曇り)

4:45 自宅出発→7:00 道の駅「くつき新本陣」→自転車5.5km→7:45 搦谷越 発(取り付き
林道で道迷い③)→9:15 行者山→10:15 横谷峠→11:20 池原山分岐→12:20 駒ヶ岳→13:10
池河内越→14:00 桜谷山→14:20 木地山峠→15:00 百里ヶ岳→15:30 百里新道分岐→16:00
根来坂テント泊(行動時間9時間)

12月1日(日)(晴れ時々曇り)

5:40 根来坂→5:50 おにゅう峠(暗い中、違う尾根に入り込む道迷い④)→7:30 ピーク803
→8:45 ナベクボ峠→9:30 三国岳(ピークから来た道に戻るのを、ピークから違う尾根を
下りてしまった。道迷い⑤)10:30 地蔵峠(高島トレイルの標識が逆方向を示していた～
分割してトレイルするハイカーのための標識か?道迷い⑥)→11:40 カベヨシ818→12:45

岩谷峠→13:45 三国岳→ 14:20 丹波越→15:00 桑原橋（行動時間 10 時間 20 分） 17:23

コミュニティバス→道の駅「くつき新本陣」

車で搦谷越の自転車を回収後 21:00 帰神

a 山行は予定の内容・日程で行動出来たか

・11/17 三重嶽から武奈ヶ嶽に向かう分岐から 10 分程歩いたところで、西の尾根に方向を変えなければならないのに、藪こぎ、倒木等あり、直進し南の尾根に入り込んだ。テープに誘われ 30 分程大きく下降した（スタート時にコンパスで進むべき方向を保存していなかったこと。コンパスでの方向確認のタイミングが遅かったことによる）。そこで道迷いに気がついたが、登り返しては、計画通りの下山が困難とわかり、ルート変更を決め、そのまま石田川ダムまで下山した。それをカバーすべく 11/23 に日帰りで再挑戦した。その他、行動記録に記載のとおり、上記を含め全体で 6 件の道迷いがあったが、11/17 の道迷い②以外はカバーが早かったこと、順調なところはコースタイムより早く進んだことにより、目的地到着時刻は予定より 1 時間程度早めになった。

（今回の道迷いの原因要約）

- ① 林道で行くべき方向、地形がわかり難くなった。～林道でのルートファインディングは難しい。
- ② 倒木、藪こぎ、暗さにより、本来のルートを外れた。
- ③ テープ、標識に頼り過ぎて間違いを起した。何のためのテープ、標識か、あいまいなことがあるので、テープだけを信用してはいけない。
- ④ 地形図の細かい部分のよみ違い（ピークからの下降か、離れたところからの下降か、地形図の細かい部分を見ないと分らない）。
- ⑤ 行動中のコンパスでの方向確認が遅かったことがあった。～スタートする前に進むべき方向を保存し、不安を感じたら、すぐにコンパスで確認すること。

b 事故に繋がりそうな要因（ヒヤリハット）が発生したか 発生した場合は具体的に記す・なし

C その他、ルートに関する情報・気がついた事等

延べ 5 日かけて高島トレイルを完走できた。自動車、電車、バス、自転車を駆使した、おもしろくて、長くて、意義のある山行だった。

（今回の意義）

- ① ルートファインディングの「こつ」を思い出した。～「基本動作」をしばらくやってないと忘れてしまう。
- ② 加齢による体力の衰え、肘・腰の故障が心配だったが、まだ歩けることが分った。
- ③ 「コンパス（登山届）」の利便性、それに付随する、「ココヘリ」を持つことによる安心感が実感できた。
- ④ 高島トレイルの魅力を実感できた。ぶなの林、若狭湾、琵琶湖を眺めながらの縦走は楽しい。
- ⑤ すばらしい朝日と夕日を見ることができた。
- ⑥ 日本の田舎の人口減少にともなう、過疎化を実感した。～そんな中でも、高島トレイルを整備されている皆様、時間通りコミュニティバスを運行されている皆様、に感謝します。

ありがとうございました。報告者氏名 大川 肇

令和 1 年 12 月 3 日